

頤椎（けいつい）とは首の骨のこと

頤椎1番（C1）（病状）

神経衰弱・ヒステリー・脳の疲労・目の疲れ・不眠症・糖尿病・半身不随・めまい
脳の活動との関連が強いのが特徴です。候頭骨と連結していて、一般的に外からは触る事が難しい箇所です。不眠症の時は、後頭骨を左右に動かし、上に上げるような運動をすると、頤椎1番が緩んで楽になります。

頤椎3番（C3）（病状）

五臓（胃腸・腎臓・肝臓、脾臓、膵臓、）の働き、甲状腺、難聴、鼻疾患（アレルギー性鼻炎）、眼疾患、肩こり・首の捻れ迷走神経という（脳神経）関連が強い為、5臓に影響を及ぼします。

頤椎5番（C5）（病状）

メニエール病・胃酸過多、肝臓病・ムチ打ち症・気管支喘息・喉の痛み・平衡運動感覚。
内耳の機能に関連している為、平衡運動感覚に影響を及ぼします。
メニエール病の人は、頤椎5番がずれている方

頤椎7番（C7）（病状）

動脈硬化・高血圧・低血圧・むくみ・リンパ・ムチ打ち・胃痛・気管支炎・心臓の骨とも言われているので、全身の血管をコントロール・全臓器の動脈に関連しています。
ここをほぐすには、首の前後の運動が良いです。

頤椎2番（C2）（病状）

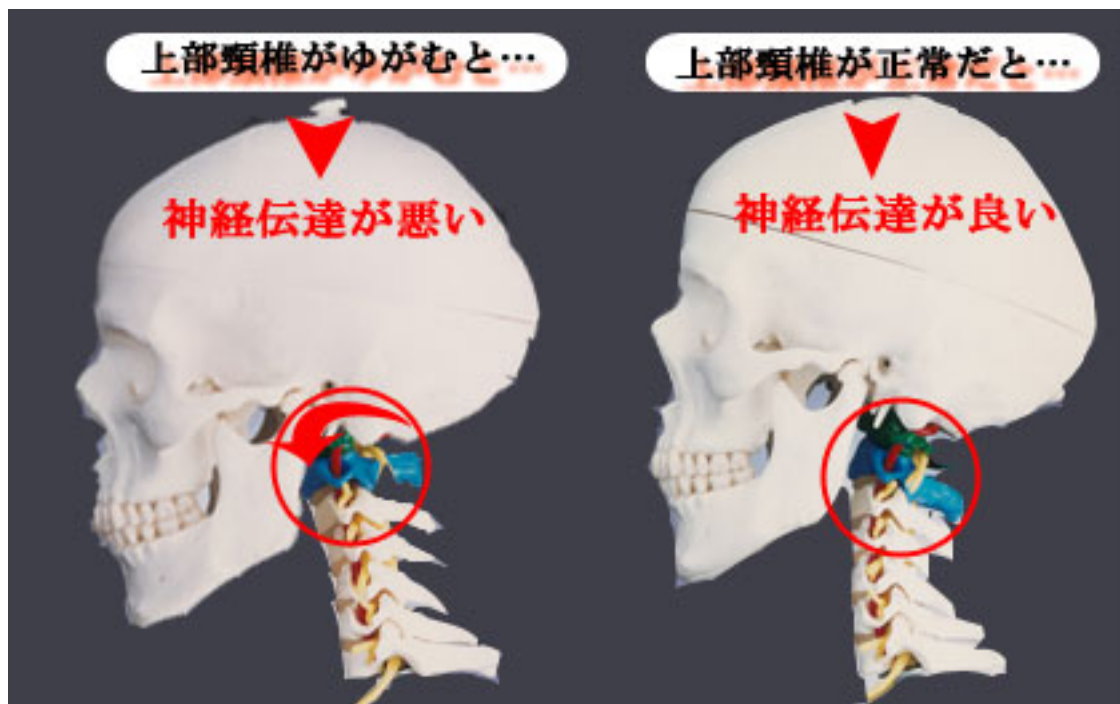
頭痛・ムチ打ち・日射病・癲癇・失神・脈の乱れ・腎機能、泌尿器系・酸欠
脳の血液循環との関連が強い箇所です、首の筋肉に関連が強い箇所です。寝違い等は、この頤椎の2番と関連が高い為、この箇所をほぐすと緩和されます。また、脳の血流が悪くなる事で偏頭痛、高血圧・脳梗塞等も、頤椎2番のずれでおこる事が多いです。

頤椎4番（C4）（病状）

呼吸器系の中樞・気管支炎・喘息・しゃっくり・呼吸中枢・横隔膜・肩の関節
笑ったり、話したりする時は、この頤椎4番に関連しています。ここは、感情の動きで硬直したり、ほぐれる箇所なので、イライラしている時は、硬直し、笑っていると、柔らかくなる箇所です。

頤椎6番（C6）（病状）

甲状腺腫、喘息、パセドー病・甲状腺低下症・呼吸器や迷走神経との関連もあります。
主に、甲状腺の問題がある時は、東洋医学では頤椎6番の改善（ヘルニア）などを整えます。甲状腺に関連があるので、肌にも影響をおよぼします。



頤椎が歪むと脳から内臓への神経伝達に影響がでます。

毎日、自宅で頤椎の調整を行うことは可能です。

しかも頸椎矯正ナップを使用すれば簡単にできるのです。



頸椎矯正ナップ



1 回 15 分を 2 段階で行います。

毎日 30 分横になるだけで調整ができ、快適な生活が送れるのです。



ステップ 1

15 分。頸椎矯正ナップをすっぽりと首に当て、少しだけ頭のとっぺんの方（上）にずらします。顎は天井と並行になるようにし、後頭部はナップにつかない状態にします。

ステップ 2

15 分。頸椎矯正ナップをすっぽり首に当たるよう背中の方（下）にずらします。顎は少し引いて、後頭部がナップについた状態にします。

継続的に 3 ヶ月使用していただくと、もっとも効果的です。

夜眠る前に行うと、そのまま眠ってしまうことが多いので、お昼や朝目覚めた時に 30 分施術することをお勧めします。

カヌダの枕は、素手を用いて指圧を行う「徒手法(としゅほう)」を取り入れた枕です。徒手法とは、優しい刺激を与えることで神経筋骨格系の問題に対応するための指圧技術で、アメリカやドイツなどの先進国では、認定を受けた理学療法士によって広く用いられています。

